allcinema

泥の河（1981）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 105分
初公開日 1981/01/30
映倫 G

【解説】
第13回太宰治賞受賞の宮本輝の同名小説を、これが監督デビューとなる小栗康平が映画化。河口の食堂に住む少年と対岸に繋がれた船で売春を営む母を持つ姉弟との出会いと別れを軸に、社会の底辺で生きる人々の姿をきめ細やかに描いた人間ドラマ。日本が高度成長期を迎えようとしていた昭和31年。大阪・安治川の河口で食堂を営む板倉晋平の息子・信雄は、ある日、対岸に繋がれているみすぼらしい船に住む姉弟と知り合う。その船には夜近づいちゃいけないと父からは言われていた……。

【クレジット】
監督 小栗康平
製作 木村元保
原作 宮本輝 『泥の河』
脚本 重森孝子
撮影 安藤庄平
美術 内藤昭
編集 小川信夫
音楽 毛利蔵人
助監督 高司暁
出演 田村高廣 Takahiro Tamura
藤田弓子
朝原靖貴
加賀まりこ
桜井稔
柴田真生子
初音礼子
西山嘉孝
蟹江敬三
殿山泰司
八木昌子
芦屋雁之助

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.